

1 番

ここは古くから人々に愛されてきた桜の名所です。7世紀ごろに、この山の神社に来る人々によって桜の木が植えられ、それからずっと神の木として大切に守られてきました。春になると山が三万本の桜の花でいっぱいになる美しさは、言葉では表すことができません。また、花のさく時期に差があるのが、ここの桜の特徴です。毎年4月はじめごろに山の下から順番にさき始め、4月半ばに最も美しい時期になります。一番高いところの花が満開になる20日過ぎには、山の下の方の木は、もうすっかり花が散って、葉だけになっています。

問 ここの桜について正しいものはどれか。

- 1 山全体の桜が一度にさく。
- 2 4月20日ごろ桜の花は全部散ってしまう。
- 3 桜の花が見られる期間が長い。
- 4 花がさく時期がはっきりわからない。

2 番

私が結婚したばかりのころの話である。仕事の後で同僚と飲みに行ったが、遅くなり、帰りの電車がなくなってしまった。しかたなくタクシーに乗って帰ることにした。行き先を言うと、運転手は私が急いでいると見たのか「高速道路で行きましようか。」と聞いた。かなり酔っていた私はよく考えずに「そうしてくれ。」と答えた。いつの間にかタクシーの中で寝てしまったようで、気がつくと家の中にいて、目の前に怒った妻の顔があった。妻が払ったタクシー料金は、長距離のうえに高速道路代まで加わって、とんでもない額だったらしい。妻はその後「安月給なのに……」と文句を言い続けた。

問 この文章を書いた人の妻が怒ったのはどうしてか。

- 1 高いタクシー料金を払ったから
- 2 同僚とお酒を飲みに行ったから
- 3 タクシーの中で寝てしまったから
- 4 給料が安いから

帰りが遅い時は気をつけましょう

最近^{しな}市内で、夜遅い時間に歩いて帰る女性^{じよせい}がかばんをとられるという事件^{じけん}が増えています。犯人^{はん}は車ではなくて、自転車に乗ってとっていくことが多いようです。かばんを肩^{かた}にかけるときは、後ろから来た自転車にとられにくいように、車道^{がわ}側ではないほうの肩^{かた}にかけましょう。家のかぎや携帯電話^{けいたい}はかばんの中に入れておかないことも大切です。銀行のカードをとられてしまった場合は、すぐに銀行に連絡^{れんらく}してください。できるだけ、遅い時間に一人で歩かないようにしましょう。

問 かばんをとられないようにするには、どうすればいいと言っているか。

- 1 かばんを肩^{かた}にかけてはいけない。
- 2 車ではなくて自転車に乗ったほうがいい。
- 3 家のかぎや携帯電話^{けいたい}をかばんの中に入れない。
- 4 かばんを車道^{ほんたい}と反対^{はんたい}のほうの肩^{かた}にかける。

4 番

山田^{いちろう}一郎先生

先日は突然^{とつぜん}おうかがいしたにもかかわらず、お時間を作ってください、その上お食事までごちそうになり、ありがとうございました。

先生に話を聞いていただき、心の中の不安が^き消えました。^{あらた}改めて自分の^{もくひょう}目標を^{かくにん}確認することもできました。もう一度^{もくひょう}目標に向かって^む努力^{どりょく}していこうと思います。よい^{けっか}結果をご^{ほうこく}報告できるようにがんばります。

ご連絡^{れんらく}もしないで訪問^{ほうもん}した私に、おいしいお食事を用意^{ようい}してくださった^{おくさま}奥様にどうぞよろしくお^{つた}伝えください。

2月10日

リュウ・チャン

問 この手紙で一番^{つた}伝えたいことは何か。

- 1 食事を^{れい}ごちそうしてもらったことのお礼
- 2 話を聞いて^{れい}もらったことのお礼
- 3 よい^{けっか}結果が^{ほうこく}報告できたことのお礼
- 4 先生の^{おくさま}奥様が食事を^{れい}用意してくれたことのお礼

1 番

今アメリカで人気が高い女性^{じょせい} 3 人のグループ「wee」が来週、日本にやって来ます。
彼女^{かのじょ}たちの美しい歌声^{うつく}と踊り^{おど}は見る人^{かんどう}を感動^{きんどう}させます。昨年^{さくねん}発売^{はつばい}された CD は全世界^{ぜんせい}で
1000 万枚^{まい}を売り上げました。来月^{らいげつ}また新しい CD が発売^{はつばい}される予定^{よてい}で、その宣伝^{せんでん}がこの
来日^{らいにち}の主な目的^{もくてき}です。来月^{らいげつ}から半年^{はんとし}かけてアメリカ各地^{かくち}でコンサートを行う予定^{よてい}ですが、
その前にしっかり宣伝^{せんでん}しておこうということのようです。コンサート前^{いそが}の忙しい時期^{じき}で
すが、彼女^{かのじょ}たちは、空いた時間^あに観光や買い物を楽しみたいと言っているそうです。

日本にいるのは 1 週間と短いのですが、テレビ番組^{しゅつえん}にも出演^{よてい}する予定です。

問 「wee」が日本に来る目的^{もくてき}は何か。

- 1 CD の販売^{はんばい}
- 2 コンサートの宣伝^{せんでん}
- 3 CD の宣伝^{せんでん}
- 4 観光と買い物

2 番

現代の生活は、パソコンや携帯電話、テレビなどの画面を毎日見るために、多くの人
が目の疲れを感じていると言います。そういう人たちにすすめたいのが簡単にできる目
の体操です。パソコンを使った後や読書をした後に目が疲れるのは、近くの物を見続け
ることによって、目のまわりの緊張が続くからです。このようなときは、目を閉じたり
開いたり、また瞳(注1)を上下左右に動かす体操を2～3回くりかえしてみましょう。目
のまわりの筋肉(注2)がやわらかくなって、疲れがかなりとれるでしょう。

(注1) 瞳：目の中の黒い部分

(注2) 筋肉：体を動かすときに使う部分

問 目の疲れをとるのに必要なことは何か。

- 1 近くにある物を見続ける。
- 2 目の筋肉を強くする。
- 3 目を使う前に体操をする。
- 4 目のまわりの緊張をとる。

3 番

「旅は人を大きくする」と言います。旅は私にいつも新しい発見をくれます。美しい景色、人との出会い、おいしい料理……その中には悪いものもあるかもしれません。しかし、いいものも悪いものも、様々なものを見て、聞いて、食べて、感じて、考えることが、人が「大きくなる」ということなのでしょう。旅に出るといつも、戻るときの荷物のほうが重く感じます。それはきっと「大きくなった」私の、経験の重さだろうと思っています。

問 「旅は人を大きくする」とあるが、どのようなことか。

- 1 旅をするといろいろなものを食べて体が大きくなる。
- 2 旅をするといい発見だけではなく悪い発見も増える。
- 3 旅をすると呼りはいろいろ荷物が増えて重くなる。
- 4 旅をするといろいろな経験をすることができる。

カセットボンベの正しい捨て方

バーベキュー用のカセットボンベをごみとして捨てる^すときは、ごみ収^{しゅう}集^{しゅう}車^{しゃ}やごみ処^{しょ}理^り場^{じょう}で事故^{じこ}が起きないように、中^{なか}身^みを使い切^きってから、穴^{あな}を開^{ひら}けて、資^し源^{げん}ごみの日^かに缶^{かん}として出^でしてください。

穴^{あな}が開^{ひら}けられない場合は、中^{ふくろ}が見える袋^{ふくろ}に入れて、特別^{とくべつ}ごみの日^にに危^き険^{けん}物^{ぶつ}として、ほかのごみと分^わけて出^でしてください。ごみ処^{しゅり}理^{じょう}場^{ちよくせつ}に直^ち接^{せつ}持^こち込^こむこともできます。その場^ば合^あも、同^{どう}じよう^{じよう}に袋^{ふくろ}に入れて、危^き険^{けん}物^{ぶつ}だとわ^わかるよう^{よう}にしてくだ^{くだ}さい。

ど^{ほうほう}の方法^{ほうほう}で出^です場^ば合^あも無^む料^{りょう}です。



問^とい合^あわせ ごみ処^{しゅり}理^{じょう}センタ^ー

☎ (98) ×× □□

Fax (98) ×× ○○

問^{ないよう} この文^{ぶん}の^{ないよう}内^{ないよう}容^{よう}につい^てて、正^{ただ}しいもの^{もの}はど^どれ^れか。

- 1 穴^{あな}を開^{ひら}けて、袋^{ふくろ}に入^いれな^なけれ^れば捨^すて^てるこ^ことが^がで^でき^きな^ない。
- 2 穴^{あな}を開^{ひら}け^ない^いで処^{しゅり}理^{じょう}場^{ちよくせつ}に持^もっ^ててい^いく^くとき^きは中^{なか}が見^みえる袋^{ふくろ}に入^いれる。
- 3 ごみ処^{しゅり}理^{じょう}場^{ちよくせつ}に持^もっ^ててい^いけ^けば穴^{あな}を開^{ひら}けてく^くれる。
- 4 ごみ処^{しゅり}理^{じょう}場^{ちよくせつ}に持^もっ^ててい^いか^かな^ないと無^む料^{りょう}にな^なら^らない。

1 番

先日、仕事の帰りにバスに乗ったときのことだ。私のとなりの^{せき}席に10^{さい}歳ぐらいの女の子が^{すわ}座っていた。^{かのじょ}彼女は途中から乗ってきた50代ぐらいの^{じょせい}女性を見ると、「どうぞ」と言^{せき}って席を立^{おこ}った。すると、その女性^{じょせい}は少し怒^{おこ}ったような顔で、「いいわよ」と言^{おこ}った。「自分はまだそんな年ではないのだから^{としよ}年寄^{あつか}り扱いをしないしてほしい」と思^{おこ}って、いい^{おこ}気持ち^{おこ}がしなかったのかもしれない。けれども、女の子にはその^{じょせい}女性^{おこ}が十分^{としよ}年寄^{あつか}りに見えたのだろう。そして、「お^{としよ}年寄^{あつか}りや体の不自由^{ふじゆう}な人がいたら、^{せき}席^{ゆず}を譲^{ゆず}りなさい」と教^{おこ}えられているのをちゃんと守^{おこ}って立^{おこ}ったのだろう。^{じょせい}女性^{おこ}は、それを理^り解^{かい}して「ありがとう」と言^{おこ}って座^{すわ}ればよかったのに。私は、女の子ががっかりしているのではないかと気^{おこ}になって、「雨^{かき}が降^{かき}ってきたね。傘^{かさ}、持^{かき}ってる？」と声^{おこ}をかけた。すると、^{かのじょ}彼女^{おこ}は「はい」とにっこり笑^{おこ}ってバスを降^{おこ}り、走^{おこ}って行^{おこ}った。私は^{おこ}少し安^{おこ}心^{おこ}した。

問1 この文章を書いた人は、女性じょせいがしたことについてどう思ったか。

- 1 「ありがとう」と言ったのはよかった。
- 2 「いいわよ」と言った理由りかいが理解できない。
- 3 女性じょせいが座すわったので安心した。
- 4 女性じょせいが座すわらなかったのは残念ざんねんだ。

問2 この文章ぶんしょうを書いた人は、女の子がしたことについてどう思ったか。

- 1 女性じょせいを年寄としよりだと思ったのはよくなかった。
- 2 女性じょせいに席せきを譲ゆずろうとしたことはよかった。
- 3 女性じょせいをいやな気分にしたのはよくなかった。
- 4 女性じょせいに笑わらって答えたのはよかった。

問3 少し安心したとあるが、それはどうしてだと考えられるか。

- 1 女の子ががっかりしていないようだったから
- 2 女の子がバスを降りたから
- 3 女の子が傘かさを持っていたから
- 4 女の子が教えられたことを守ったから

2 番

スーパーのレジで「ノー・レジ袋カード」というカードを見ることがある。自分の買**い**物袋**ぶくろ**を持っている客**きやく**は**お**金**はら**を払う前に、このカードを自分のかごに入れておく。カードを見た店員は、この客**きやく**にはレジ袋**ぶくろ**を渡**わた**さなくていいとわかる。客**きやく**と店員が「レジ袋**ぶくろ**は要りませんよ」「はい、ご協力**きょうりよく**ありがとうございます」というような会話をしないですむ。便利だからと、レジにこのカードをおくスーパーが増えているようだ。これについて、ある新聞に「私はノー・レジ袋カードを使いたくない」という投書**とうしよ** (注)があった。投書**とうしよ**をした人は、「ことばで直接伝えるのは簡単**かんたん**なことなのに、なぜカードを使うのかわからない」と言っている。そして、「カードのせいで人と人のコミュニケーションの機会**きかい**が減ってしまうのは残念**ざんねん**だ」と書いている。

しかし、私は、このカードの使用が特に残念**ざんねん**なことだとは思わない。レジ袋**ぶくろ**が要**い**るか要らないかを言葉**ことば**で伝**つた**えるのは、たしかに簡単**かんたん**だ。簡単**かんたん**なのは、このやり取りに大した内容がないからだ。それよりも、例えば小さい商店**しょうてん**で、どの商品**しょうひん**がいいか相談したり、店の人**きやく**が客**きやく**に合う品**しな**を勧**すす**めたりするようなコミュニケーションが、今のスーパーではしたくてもできない。そのことのほうが残念**ざんねん**だと私は思う。

(注) 投書**とうしよ**：一般**いっぱん**の人が新聞などに自分の意見などを送ること

問1 「ノー・レジ袋カード」の便利な点はどんなことだと言っているか。

- 1 会話をしなくても袋が必要ないとわかること
- 2 会話をしなくてもお金が払えること
- 3 客と店員の会話が簡単にできること
- 4 客が店員に言葉で直接伝えられること

問2 投書をした人は、どうして「ノー・レジ袋カード」を使いたくないのか。

- 1 カードの使い方がわかりにくいから
- 2 必要なレジ袋がもらえないのは残念だから
- 3 自分の買い物袋を持っているから
- 4 店員との会話をなくしたくないから

問3 この文章を書いた人は、店で行われるコミュニケーションについてどのように思っているか。

- 1 レジで行われるコミュニケーションは簡単なほうがいい。
- 2 スーパーでは小さい店のようなコミュニケーションが行えないので残念だ。
- 3 小さい店はコミュニケーションの機会が少ないので残念だ。
- 4 レジでカードを使わなければコミュニケーションが増えるだろう。

3 番

^{むかし}昔からずっと「青いバラは作ることができない」と言われてきました。バラにはもともと青い色を作る力がありません。それで英語の「blue rose (注)」という言葉には「^ふ不可能^{かのう}」という意味があります。

その①「^ふ不可能^{かのう}な花」を作ろうと研究を始めた人たちがいました。その人たちが考えたのは、バラ自身に青い色を作る力がないのだから、②ほかの青い花からその力を借りるという方法です。しかし、どの種類^{しゅるい}のバラでもいいというわけではありません。たくさんあるバラの種類^{しゅるい}の中から、ほかの花の力を自分の力に変えられるものを探しました。そのようなバラはなかなか見つかりませんでした。研究を始めてから14年後について見つけたのです。こうして青いバラが生まれました。青いバラの花言葉は「普通では考えられないことが起きる」という意味の③「^き奇跡^{せき}」です。

(注) blue rose : 青いバラ

問1 ①「^ふ不可能な花」と言われていたのはどうしてか。

- 1 バラはほかの花の力を使うことができないから
- 2 バラは青い花から力を借りることができないから
- 3 青いバラを作る研究ができないから
- 4 青いバラを作ることはできないと思われていたから

問2 ②ほかの青い花からその力を借りるとはどういうことか。

- 1 ほかの^{しゅるい}種類のバラの力を貸してもらう。
- 2 ほかの花の青い色を作る力を使う。
- 3 青い色を作る力をほかの花に^{あた}与える。
- 4 青い色を作る力があるほかの花を^{さが}探す。

問3 青いバラの花言葉が③「^{きせき}奇跡」であるのはどうしてか。

- 1 研究に14年もの長い時間がかかったから
- 2 見つからなかった^{しゅるい}種類のバラが見つかったから
- 3 できないと考えられていたことができたから
- 4 バラに力を貸すことができる花が見つかったから

1 番

最近、ちょっとしたことで怒る子どもが増えている。先日も、いつもはまじめに勉強していた子が突然友だちをナイフで刺すという事件が起こった。子どもが事件を起こすたびに、その原因について教育の専門家がいろいろな意見を言う。しかし、①そのような行動の原因の一つが毎日の食事にあるということを忘れてはいけない。例えば、子どもたちが好きなジュースや菓子などの甘いものは、とりすぎるといらいらしたり怒りっぽくなったりすることがわかっている。しかし、「何を食べるか」よりもっと大切なのは、「どのように食べるか」である。今の子どもたちは、一日三回の規則正しい食事ができないことが多い。例えば、学校から帰ってラーメンや菓子を食べてから、すぐ塾へ行って勉強をする。家に帰って遅い時間に食事をして、朝食は食べない。②こんな食事のし方を続けていると、夜眠れなくなったり、胃腸の調子が悪くなったりして、その結果、心も不安定になる。食事は、栄養に気を付ければそれでいい、というものではない。成長期の子どもの持つ親は、彼らの心の健康のために、食事の習慣についてもっと注意することが必要だ。